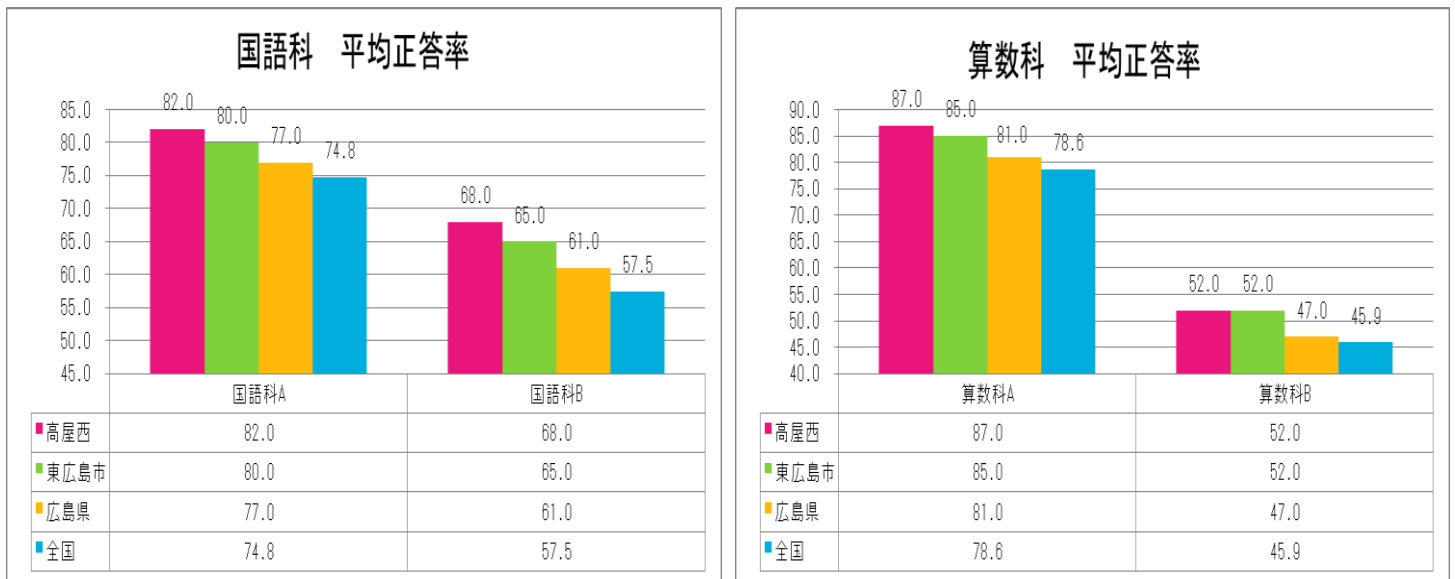


平成29年度全国学力・学習状況調査結果（小学校）（正答率%）



## 国語科

- 国語科のA問題(主として「知識」に関すること)、B問題(主として「活用」に関すること)とも、全国平均を大きく上回っている。
- 国語科の領域別平均正答率は、A問題(主として「知識」に関すること)、B問題(主として「活用」に関すること)とも、すべての領域において全国平均を大きく上回っている。
- 領域別では、読むことに関しては、特に正答率が高い。しかし、書くことに関しては、課題がある。
- 書く領域において、正答率の低い問題は、漢字を書くこと(対象・希望)(A)、手紙の構成を理解し、後付けを書くこと(B)、引用して書いたり、必要な内容を整理して書いたりすること(B)である。

## 算数科

- 算数科のA問題(主として「知識」に関すること)、B問題(主として「活用」に関すること)とも、全国平均を大きく上回っている。
- 算数科の領域別平均正答率は、A問題(主として「知識」に関すること)、B問題(主として「活用」に関すること)の領域において全国平均を大きく上回っている。
- 領域別では、数と計算、及び図形に関しては、特に正答率が高い。しかし、量と測定に関しては、課題がある。
- 量と測定の領域において、正答率の低い問題は、加法と乗法の混合した計算をすること(A)、平均の求め方を記述すること(B)、割合を使って比べる量を求め、選んだ理由を記述すること(A)である。

## 今後、指導の充実を図ること

- 国語・
  - ①読書活動の充実による語彙力、読解力、論理的思考力、表現力の育成。
  - ②多様な資料の活用。
  - ③国語辞典、漢字辞典の活用による文字の習得。
- 算数・
  - ①生活の中にある算数見付け。
  - ②相手に分かりやすい筋道を立てた説明と記述。
  - ③基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着。